

# 高松市立 みんなの病院 地域医療連携だより

基本理念

生きる力を応援します

基本方針

- 1 『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2 『安全で良質な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3 『まごころのある医療人』を、全力で育成します。
- 4 『地域とのつながり』を大切に、みんなの暮らしを支えます。

2019年  
11月号  
第8号

## 地域医療・患者支援センター

地域医療機関の先生方には、日頃より病病連携、病診連携にご協力を賜り、誠にありがとうございます。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年9月のみんなの病院開院に伴い、地域医療連携室と入院センターを統合、地域連携業務と退院支援、患者相談窓口を一元化し「地域医療・患者支援センター」として業務をスタートさせ、早くも一年が過ぎました。みんなの病院基本方針でもある『地域とのつながり』を大切に、病院と診療所の機能分化を図り、患者さんによりよい医療の提供を行なうべく、これまで以上に地域医療機関との円滑な連携を図りたいと考え取り組んでいるところです。かねてからのご要望でもありました土曜日のFAX予約診療申込については、この10月から受付を開始いたしました。また、当院は開放型病床を10床設けており、病診連携にご登録いただいている先生方にご利用いただける体制を整えていますのでご活用ください。

今後も地域医療機関と密接な連携を図り、医療水準の向上と医療サービスの充実を目指していきたくと考えていますのでご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

### 「地域連携」

かかりつけ医療機関からの患者さんの紹介・逆紹介に関する予約受付や地域医療機関との連絡・調整・支援、医療関係者向け研修会（地域医療連携カンファレンス・地域医療連携セミナー・医療介護関連施設職員研修会）の開催、広報誌の発行、地域住民の方を対象に健康講座開催などの業務を行なっています。また、顔の見える関係を築くため、当院の医師と共に地域医療機関へ訪問させていただく活動を行なっています。その際に伺った情報を元にリーフレットを作成し院内に掲示、患者へのかかりつけ医の推奨を行なっています。

### 「入退院支援」

患者さんやご家族が安心して医療を受けられるように受診から入院、退院後の生活を見据え、専任の看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど他職種が入院前から連携してサポートを行ない、退院後の病院や他施設での継続治療のための連絡・調整や在宅復帰に向けた支援を行なっています。

### 「患者相談窓口」

患者さんやご家族の経済的、精神的、社会的援助に関するご質問や、入院や生活上の悩みや疑問などをご相談いただける窓口を設置し、ご相談内容に応じて専門スタッフが対応させていただきます。

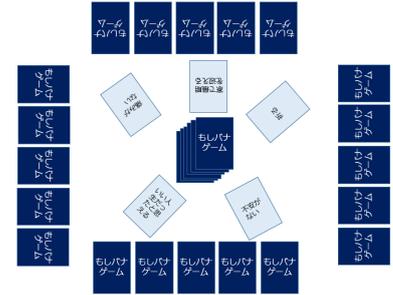
（文責 地域医療・患者支援センター 副センター長 岡 ユカ）

地域連携業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介患者さんに関する業務</li> <li>・かかりつけ医への逆紹介</li> <li>・研修会</li> <li>・健康講座</li> <li>・広報活動</li> </ul>
入退院支援業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院説明</li> <li>・他職種と連携した入退院支援</li> </ul>
患者相談窓口業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的、精神的、社会的に関する相談に他職種と連携し対応</li> <li>・ご希望に応じたかかりつけ医のご案内</li> </ul>

「縁起でもない話をもっと身近に『もしバナ』のある世界」と題して、「もしものための話し合い もしバナゲーム」を通じてACP（人生会議）を考えました。

**ACP（アドバンス・ケア・プランニング）って何？**

自らが望む人生の最終段階における、医療、ケアについて、前もって考え、医療ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取り組みです。もしバナゲームは、ゲームを通じて、友人、家族に自分の願いを伝え、理解してもらおうきっかけ作りになります。



**＜ゲームの進め方＞**

まず、設定をします

4人1組がゲームを進めやすい人数です

- 治療困難な病気で生命の危機が迫っているとき、あと半年から1年の命と言われたら・・・

「あなたは、何を大切にしたいですか？」

次にお約束をします

**もしバナゲームのお約束**

- ・ 批判しません
- ・ 話したくないことは話さなくても良いです
- ・ 口外はしません
- ・ “ここだけのはなし” にしましょう
- ・ みなさんの意見を聞きましょう
- ・ つらくなったら退席してもいいです

今回は研修に参加いただいた方全員で4人1組6グループに分かれて開催しました。

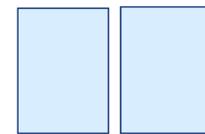
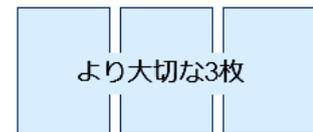
準備が整えば・・・ゲームの開始です。もしバナゲームは協働作業です！

35枚のカードから各人に5枚ずつカードを配ります。

残りのカードは中央に積み、その周りに5枚広げます。

手元のカードと広げてあるカードを1枚ずつ順番に交換しながら

「自分自身がより大切にしたいこと」が書かれているカードを集めていきます。最後に場のカードがなくなれば終了です。



シェア・・・手元に残ったカードを披露 → 振り返り

より大切な3枚と2枚のカードを披露して選択の思考過程を他のプレイヤーに紹介、共有します。

もしバナゲーム体験を通じて・・・ゲーム終了後に参加者のみなさまからいただいた感想をご紹介します。

- ・ 利用者さんの家族と深く話ができて、本人の意思の整理の為にも良いツールと感じた。
- ・ 機会があれば、施設利用者にも実践出来るようにしたい。
- ・ 人生の終末に向け、考え方のサポートツールとして役に立つのではないかと感じた。
- ・ 入居者の方の希望をもっと取り入れていかなければならないと思った。
- ・ 人生の最期について利用者として「しっかり話」をする事が難しい中で、想いを引き出す支援になれば思う。
- ・ 難しい話題ではあるが、出来るだけ本人や家族の気持ちを汲み取れるような支援が出来るようにしたい。
- ・ 担当している利用者の気持ちを知るキッカケになると思った。
- ・ 家族で話し合う事を促す（もしものための話し合い）
- ・ 認知症もあり、なかなか自己決定は難しい利用者がある現状ではあるが、今後は家族や出来る限りお元気なうちに、これからの話もしていくことも大切のように思った。
- ・ 死に近いお年寄りに「死」に関して話をするのは難しい。このゲームであれば、分かりやすく、家族の人達にも伝わりやすいと思った。
- ・ 今後、もしバナゲームの利用で、意向などを伺い支援することを実践したい。

◆◆◆ **機会があればもしバナゲームに参加してみませんか** ◆◆◆

もしバナゲームは、新たな自分の発見、また、他者の考え方を認め、多様性の理解を深める意味でも意味のあるカードゲームだと思います。

## 第8回 高松市立病院学会

高松市立病院学会は、高松市立病院（高松市立みんなの病院、塩江分院）全体の活性化とレベルアップを図るとともに各部門間の理解と交流を深めることを目的に平成24年から年に1回開催しております。今年は10月19日（土）にみんなのホールにて第8回高松市立病院学会を開催しました。

今年の一般演題は全部で8演題が発表されました。みんなの病院からは放射線技術科、検査技術科、リハビリテーション科、看護局、医療局外科、医療局呼吸器外科、医療局呼吸器内科が発表し、塩江分院からはリハビリテーション科の発表がありました。

どの演題も興味を引かれる素晴らしい演題でした。今年から最優秀演題表彰が行われることになり、栄えある第1回最優秀演題に選ばれたのは、呼吸器外科 三崎先生が発表された「適切な輝度を得るための赤外線装置観察下でのインドシアニンググリーン濃度の探求」でした。特別講演は、徳島赤十字病院 救急科副部長 吉岡 勇氣 先生による『徳島で「劇的救命」に挑戦！』でした。救急医療に対する熱い思いの伝わる素晴らしい講演でした。

お忙しい中、地域医療機関や高松市議会議員の皆様方にもご参加いただきありがとうございました。

来年度も実りある市立病院学会を目指して開催する予定です。

（文責 臨床教育室長 長町 顕弘）



## おいでまいよ会

緩和ケア委員会では、毎年10月の緩和ケア週間に「おいでまいよ会」を開催しています。第7回のテーマは「緩和ケアをもっと身近に～当院の取り組み～」とし、「緩和ケア」について考えていただきました。講演や喫茶コーナー、パンフレットを準備し、相談などをお受けしました。恒例の日用品バザーの売上金は、今年も全額、骨髄バンクに寄付させていただきます。

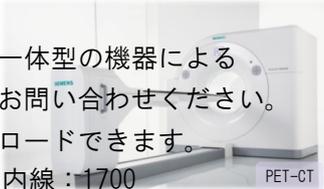
当院では、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師など多職種によるラウンドやカンファレンスを実施し、問題解決の糸口を探すお手伝いをしています。また、がん相談員が、がんに関する質問や相談をお受けしています。各診療科・患者相談窓口・病棟ナースステーションにお気軽にお声かけください。



## PET/CT検査のご案内

最新の陽電子放出断層撮影装置（PET）とX線コンピューター断層撮影装置（CT）一体型の機器によるPET/CT検査の受付をしています。どうぞご利用ください。なお、詳細は下記までお問い合わせください。診療情報提供書（PET/CT検査依頼用）等関係様式は当院ホームページからダウンロードできます。

お問い合わせは TEL：087-813-7171（代表）放射線科（核医学）内線：1700



## 地域まると医療を実践する「塩江分院」

塩江分院は、塩江地区唯一の医療機関として、慢性期医療を中心に、地域住民の方が住み慣れた自宅で安心して療養できるよう、24時間・365日、訪問看護ステーションと連携して対応しています。また、訪問看護や訪問診療・訪問リハビリ・栄養指導など、医療スタッフが地域に出向き、専門性を活かした活動の充実など、地域を支える「地域まると医療」の実践に努めています。

高松市民病院  
塩江分院  
基本方針

『地域まると医療』を、市民とともに実践します。  
『安全で良質な医療ケア』を、  
ファインチームワークで提供します。

『住民に愛される病院』を、おもいやりの心で実現します。

（お問い合わせは ☎087-893-0031 塩江分院 事務局まで）



年末年始のFAX予約受付のお知らせ

令和元年12月28日（土）～令和2年1月5日（日）はFAX予約受付はお休みさせていただきます。  
令和2年1月6日（月）からFAX予約受付開始しますのでよろしくお願いたします。

（地域医療・患者支援センター）

## 開放型病床のご案内・・・ご利用ください

みんなの病院には患者さん、かかりつけ診療所医師、病院医師三者一体で治療に取り組む「開放型病床」が10床あります。

### 開放病床利用の流れ

高松市医師会で登録申請をしていただき、下記の流れでご利用ください。

患者さんへの説明と  
承諾書の取得

- ◆高松市医師会の作成した「開放型病床案内」をご使用になり、開放型病院共同指導料等のご説明をお願いします。承諾書により開放病床の利用の確認をさせていただきます。

開放病床の入院

- ◆紹介患者さんが入院されれば、主治医と登録医は互いに連絡して共同診療を行ないます。  
ご来院される場合は、事前に地域医療・患者支援センターまでお知らせください。

共同診療の実施

- ◆1階4番相談窓口にて病診連携で来院されたことをお知らせください。病棟にて看護師が、対応いたします。
- ◆共同指導票（3枚複写）の1枚目（紹介元用）は、貴院へ持ち帰り保管していただきます。2枚目（会計用）、3枚目（当院控え）は病棟看護師へお渡しください。

## 『医療・介護関連施設職員研修会』開催報告

第66回



日 時：令和元年9月27日(木) 14：00～15：00

テ ー マ：「地域包括ケア病棟における看護師の役割」

「縁起でもない話をもっと身近に『もしバナ』のある世界」

担 当：退院調整の会

医療コーディネーター 看護師 広瀬 智一

地域医療・患者支援センター 退院支援看護師 若林 真由子

参加人数：19名

もしバナ  
ゲーム

日 時：令和元年10月24日(木) 14：00～15：00

テ ー マ：「腎障害と薬剤の関係について」

担 当：薬務係長 藤原 佑貴

参加人数：23名



第67回

### ご参加ありがとうございました

研修会等の年間予定表・申込用紙は病院ホームページからダウンロードいただけます  
<http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp>

FAX予約を  
お願いします



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

「高松市立みんなの病院FAX診療申込書」をご利用ください。

受付時間 平日(月～金) 8時30分～18時00分

土曜日 9時30分～13時00分 ※土曜日はFAX予約受付のみ

電 話 (087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)

F A X (087)813-6799(直通)

0120-834-224(フリーダイヤル )

※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。